

石川県コンクリート診断士会 活動レポート(2014年7月号)

◆(報告) 石川県コンクリート診断士会主催 平成26年度 技術講演会

- ・開催日：平成26年7月29日(火) 金沢勤労者プラザ101研修室
- ・参加者：39名
- ・プログラム：

- 1) 技術講演1. 「維持管理の為の種々の動向」 日本エルガード協会 事務局長代理 峰松 敏和氏
- 2) 技術講演2. 「コンクリート構造物の性能を評価する技術」 富山県立大学 准教授 伊藤始 氏
- 3) パネルディスカッション「インフラ維持管理はどこに向かうのか」
パネリスト：伊藤始 氏, 峰松敏和 氏, 奥田由法 氏, 古川博人 氏
モデレータ：麻田正弘 氏



講演会場の様子

・記事：

今回の技術講演会は「インフラの維持管理はどこへ向かうのか」をテーマにして開催しました。

峰松敏和氏の技術講演1では、コンクリート構造物のインフラドッグ制度の構築、道路橋床版の複合劣化に関する調査研究、道路橋の狭隘部・遊間部に適用する電気防食技術の開発、材齢100年以上の第二海堡のコンクリートの耐久性など、維持管理に関する最新の動向についてご講演して頂きました。

伊藤始先生の技術講演2では、RC部材の塩害劣化を例にした解析による性能の評価方法について分かりやすくお話をして頂きました。さらに、伊藤研究室で実施されているひび割れの進展に着目した3つの研究事例をご紹介して頂きました。

パネルディスカッションでは4名のパネリストから、点検診断の人材育成、熟練技術者の暗黙知の伝承、技術と社会の相互コミュニケーション、点検診断に求められていること、などについて話題提供して頂きました。その後の質疑では、会場から最近の学生の就職動向にまで話題が及び、活発な意見交換がなされました。今回、パネルディスカッションは初めての試みでしたが、様々な意見を出し合うことで、参加された皆様方にはこれまであまり問題意識がなかったことについて、少し考えるきっかけになったのではないのでしょうか。



峰松 敏和 氏の技術講演1



伊藤 始 先生の技術講演2



パネルディスカッションの様子

◆最新情報・ニュース

◇石川県コンクリート診断士会主催「平成26年度 現場見学会」

橋梁床版補修工事の見学会を計画しています。

時期は8月下旬から9月上旬の予定です。皆様、奮って参加してください。

◇日本コンクリート診断士会主催「平成26年度 業務体験発表会」

今年は11月下旬に開催予定です。第1回の昨年は各地区の診断士会から11件の発表がありました。

※11月開催の業務体験発表会で、石川県診断士の皆様の貴重な体験を発表してみませんか。
発表を希望される方は、事務局までご連絡ください。